

## ■ 第 3 学年

### [第 3 学年の目標]

- (1) 加法及び減法を適切に用いることができるようにするとともに、乗法についての理解を深め、適切に用いることができるようにする。また、除法の意味について理解し、その計算の仕方を考え、用いることができるようにする。さらに、**小数及び分数の意味や表し方**について理解できるようにする。
- (2) 長さ、かさ、重さ、時間、**角**などの単位や測定について理解できるようにする。
- (3) 図形を構成する要素に着目して、**二等辺三角形や正三角形、円や球**について理解できるようにする。
- (4) 資料を整理して表やグラフに表したり、用いたりすることができるようにし、それらの有用さがわかるようにする。

### [第 3 学年の評価規準]

[算数への関心・意欲・態度]

知識や技能などの有用さ、及び数量や図形の性質や関係を調べたり、筋道を立てて考えたりすることのよさに気づき、進んで生活に生かそうとしている。

[数学的な考え方]

算数的活動を通して、数学的な考え方の基礎を身につけ、事象について見通しをもち、筋道を立てて考えることができる。

[数量や図形についての表現・処理]

整数・**小数・分数**の計算が確実にでき、それを用いるとともに、もの大きさや時間、**角**を測定したり、図形を構成要素に着目して構成したり、資料を表やグラフに表したりする。

[数量や図形についての知識・理解]

数量や図形についての感覚を豊かにするとともに、整数・**小数・分数**の計算の意味、量の単位と測定の意味、基本的な図形の意味及び資料の表し方を理解している。

### A. 数と計算

- (1) 整数の表し方について理解を深め、数を用いる能力を伸ばす。
- (2) 加法及び減法の計算が確実にできるようにし、それらを適切に用いる能力を伸ばす。
- (3) 乗法についての理解を深め、その計算が確実にできるようにし、それを適切に用いる能力を伸ばす。
- (4) 除法の意味について理解し、それを用いることができるようにする。
- (5) **小数の意味や表し方について理解できるようにする。**
- (6) **分数の意味や表し方について理解できるようにする。**
- (7) そろばんによる数の表し方について知り、そろばんを用いて簡単な加法及び減法の計算ができるようにする。

単元	目標	観点別評価規準			
		算数への関心・意欲・態度	数学的な考え方	数量や図形についての表現・処理	数量や図形についての知識・理解
A. 数と計算		・整数、 <b>小数や分数</b> の意味とそれらの計算にかかわる技能の有用さ、その関係を調べ、筋道を立てて考えることの楽しさやよさに気づき、進んで生活に生かそうとしている。	・整数、 <b>小数や分数</b> の意味、表現及びそれらの数の計算の仕方にかわる算数的活動を通して、数学的な考え方の基礎を身につけ、事象について見通しをもち、筋道を立てて考えることができる。	・整数の除法の計算が確実にできる。 <b>端数部分の大きさなどを小数や分数で表し、小数の加法及び減法の計算</b> をすることができ、それを目的に応じて適切に用いることができる。	・整数、 <b>小数や分数</b> に対する感覚を豊かにしている。十進位取り記数法や整数の除法についての理解を深めるとともに、 <b>小数や分数の意味と表し方、小数の加法及び減法の意味</b> がわかる。
かけ算(1)	・乗法のきまりや0、10の乗法の意味がわかり、計算ができる。	・乗法のきまりを計算に使うとしている。また、0や10のある計算を生活の中で用いようとしている。	①乗法について成り立つきまりをとらえ、それを用いて計算の仕方を考えることができる。 ②0や10の計算の仕方を考えることができる。	①乗法のきまりを使って、計算の確かめができる。 ②0や10のある乗法の立式と計算ができる。	・乗法のきまりがわかるとともに、0や10のある乗法の意味と計算の仕方がわかる。
	1. 乗法のきまりがわかる。	・九九の表のおもしろさに気づき、いろいろなきまりを見つけようとしている。	・乗数を1増減したときの変化や、乗法の交換法則を、調べたり、筋道立てて説明したりすることができる。	①乗数が1ずつ増減したときの積を見つけることができる。 ②交換法則など、計算のきまりを式に表すことができる。	①乗数が1ずつ増減したときの積の変化の仕方がわかる。 ②乗法の交換法則がわかる。
	2. 0の乗法や10の乗法ができる。	・0や10のある乗法に関心をもち、生活の中から見いだそうとしている。	・具体的な場面や計算のきまりをもとに、0や10の計算の仕方を考えることができる。	① $a \times 0$ 、 $0 \times a$ 、 $0 \times 0$ の立式と計算ができる。 ② $a \times 10$ 、 $10 \times a$ の立式と計算ができる。	①0の乗法の式と計算の仕方がわかる。 ②10の乗法の式と計算の仕方がわかる。

単元	目標	観点別評価規準			
		算数への関心・意欲・態度	数学的な考え方	数量や図形についての表現・処理	数量や図形についての知識・理解
わり算 (1)	・除法の意味と式表示, 答えの調べ方がわかる。また, 0の除法の意味がわかる。	・生活の中の場面に除法を用いて処理しようとしている。また, 除法の計算の確かめをしようとしている。	・除法の適用できる場面が判断でき, 除法の答えを九九を使って見つけることを考えることができる。	①除法の式に表したり, 場面を読み取ったりすることができる。 ②除法の答えを求めることができる。	・除法の用いられる場面を理解し, 立式や答えの調べ方がわかる。
	1. 除法の用いられる場合や意味がわかり, 式に表すことができる。	・除法に関心をもち, 除法の場面をさがしたり, 式に表そうとしていたりしている。	・等分除と包含除の違いが説明でき, 同じ除法として考えることができる。同じように, 0の除法を考えることができる。	①除法の場面を式に表したり, 読んだりできる。 ②0のある除法の意味がわかり, 式に表すことができる。	①除法の意味を理解し, 式の表し方がわかる。 ②0のある除法の意味と式の表し方がわかる。
	2. 除法の答えの調べ方がわかり, 適用することができる。	・九九を用いて除法の答えを見つけたり, 除法を用いようとしていたりしている。	①除法の答えの調べ方を考えることができる。 ②除法を用いて問題を解くことができる。	①九九を使って, 除法の答えを見つけられることができる。 ② $0 \div a$ , $a \div a$ , $a \div 1$ の計算ができる。	①除法の答えの調べ方がわかる。 ②0のある除法の答えの調べ方がわかる。
	3. 倍の意味がわかる。	・除法が使われる場合に関心をもちようとしている。	・除法を使って何倍にあたる数の求め方を考えることができる。	・除法を使って何倍かを求めることができる。	・何倍にあたる数の求め方がわかる。
	4. 簡単な場合について, $(2 \text{ 位数}) \div (1 \text{ 位数})$ の計算の仕方がわかる。	・除法のきまりを進んで用いて計算しようとしている。	・ $(2 \text{ 位数}) \div (1 \text{ 位数}) = (1 \text{ 位数})$ の計算の仕方から, $(2 \text{ 位数}) \div (1 \text{ 位数}) = (2 \text{ 位数})$ の計算の仕方を考えることができる。	・ $(2 \text{ 位数}) \div (1 \text{ 位数}) = (2 \text{ 位数})$ の計算ができる。	・ $(2 \text{ 位数}) \div (1 \text{ 位数}) = (2 \text{ 位数})$ の計算の仕方がわかる。
わり算 (2)	・あまりのある除法の意味と計算の仕方がわかる。また, 計算の結果を確かめることができる。	・あまりのある除法を用いようとしている。また, あまりの大きさや計算結果を確かめようとしている。	・あまりの大きさについて考えたり, 答えの調べ方や確かめ方を考え出したりすることができる。	・あまりのある除法の立式ができ, 答えを見つけられることができる。あまりのある除法の確かめができる。	・あまりのある除法の立式と計算の仕方がわかる。あまりの大きさや計算の確かめ方がわかる。
	1. あまりのある除法の意味や, 計算の仕方がわかる。	・身のまわりであまりのある除法にあたる事象に関心をもちている。	・わり切れる除法の学習をもとにして, 除法と判断することができる。	①あまりのある除法の立式と計算ができる。 ②あまりのある除法の計算ができる。	①あまりのある除法の意味と式の表し方がわかる。 ②あまりのある除法の仕方がわかる。
	2. あまりの大きさや計算の確かめ方がわかり, 問題を解くことができる。	・除法を用いて問題を解こうとしている。	①答えの確かめ方を, あまりの大きさに目をつけたり, 「わられる数」, 「わる数」, 「答え」, 「あまり」の関係から考えたりすることができる。 ②除法を使って, 問題を解くことができる。	・あまりのある除法の確かめができる。	①「あまり」と「わる数」の関係がわかる。 ②あまりのある除法の確かめの仕方がわかる。
たし算とひき算	・3位数の加法と減法の仕方がわかり, 確実に計算できる。簡単な加法と減法の暗算ができる。	・2位数の加法・減法の仕方を使って考えようとしている。	・2位数の計算のときと同じと見て, 一の位から順に計算を進めていけばよいと考えることができる。	・3位数の加法と減法が筆算でできる。 ・簡単な加法と減法の暗算ができる。	①3位数の加法と減法の筆算の仕方がわかる。 ②簡単な加法と減法の暗算の仕方がわかる。
	1. 3位数の加法の筆算ができる。	・2位数の加法の仕方を使って考えようとしている。	・2位数の加法の筆算の仕方をもとに, 同じように一の位から順に計算すればよいと考えることができる。	・3位数のくり上がりのある加法が筆算でできる。	・3位数のくり上がりのある加法の筆算の仕方がわかる。
	2. 3位数の減法の筆算ができる。	・2位数の減法の仕方を使って考えようとしている。	・2位数の減法の筆算の仕方をもとに, 同じように一の位から順に計算すればよいと考えることができる。	・3位数のくり下がりのある減法が筆算でできる。	・3位数のくり下がりのある減法の筆算の仕方がわかる。
	3. 4位数の加法の筆算ができる。	・3位数の加法の仕方を使って考えようとしている。	・2, 3位数の加法の筆算の仕方と同じように一の位から順に計算すればよいと考えることができる。	・4位数のくり上がりのある加法が筆算でできる。	・4位数のくり上がりのある加法の筆算の仕方がわかる。
	4. 4位数の減法の筆算ができる。	・3位数の減法の仕方を使って考えようとしている。	・2, 3位数の減法の筆算の仕方と同じように一の位から順に計算すればよいと考えることができる。	・4位数のくり下がりのある減法が筆算でできる。	・4位数のくり下がりのある減法の筆算の仕方がわかる。
	5. 簡単な加法と減法の暗算ができる。	・暗算に関心をもち, 進んで使おうとしている。	・既習の計算の暗算の仕方を考えることができる。	① $(2 \text{ 位数}) + (1, 2 \text{ 位数})$ の暗算ができる。 ② $(2 \text{ 位数}) - (1, 2 \text{ 位数})$ の暗算ができる。	① $(2 \text{ 位数}) + (1, 2 \text{ 位数})$ の暗算の仕方がわかる。 ② $(2 \text{ 位数}) - (1, 2 \text{ 位数})$ の暗算の仕方がわかる。

かけ算 (2)	・(2, 3位数)×(1位数)の計算の仕方がわかり、筆算ができる。乗法のきまりがわかる。	①九九をもとにして乗法の仕方を考えようとしている。 ②計算のきまりに関心をもち、用いようとしている。	①九九や 10 の乗法をもとにして、(2, 3位数)×(1位数)の計算の仕方をを見つけることができる。 ②計算のきまりを考え、活用することができる。	・(2, 3位数)×(1位数)の筆算ができる。 また、計算のきまりを使って計算ができる。	・(2, 3位数)×(1位数)の計算の原理と筆算の仕方がわかる。また、計算のきまりを理解し、計算の仕方に使われていることがわかる。
	1. (何十, 何百)×(1位数)の計算の仕方がわかり、計算ができる。	・数のしくみや九九を使って計算の仕方をを見つけようとしている。	・数のしくみや九九を使って計算の仕方を発見することができる。	①(何十)×(1位数)の計算ができる。 ②(何百)×(1位数)の計算ができる。	①(何十)×(1位数)の計算の仕方がわかる。 ②(何百)×(1位数)の計算の仕方がわかる。
	2. (2, 3位数)×(1位数)の計算の仕方がわかり、筆算ができる。	・数の九九や何十, 何百の乗法を使って計算の仕方を発見しようとしている。	・九九や何十, 何百の乗法を使って計算の仕方を発見することができる。	①(2位数)×(1位数)の筆算ができる。 ②(3位数)×(1位数)の筆算ができる。	①(2位数)×(1位数)の筆算の仕方がわかる。 ②(3位数)×(1位数)の筆算の仕方がわかる。
	3. 計算のきまりがわかる。	・乗法のきまりに関心をもって調べようとしている。	・乗法のきまりを見つけ、きまりのよさを考えることができる。	①乗法の結合法則を用いて計算ができる。 ②乗法の分配法則を用いて計算ができる。	①乗法の結合法則とどこに使われているかがわかる。 ②乗法の分配法則とどこに使われているかがわかる。
大きな数	・一億までの数の読み方、書き方、しくみがわかり、大小の判断ができる。10 倍、100 倍などの大きさを求めることができる。	・数のしくみに関心をもち、大きな数を読んだり、書いたりすることに進んで取り組んでいる。数を相対的に見ようとしている。	・既習事項をもとに、大きな数のしくみを考えることができる。また、ある数の 10 倍、100 倍などの大きさを求めるのに、規則性に着目して考えることができる。	・一億の位までの数を読んだり、書いたりでき、大きな数の大小、順序などが判断できる。また、ある数の 10 倍、100 倍などの数を求めることができる。	・一億の位までの数の読み方、書き方、しくみ、大きな数の大小、順序などがわかる。また、ある数の 10 倍、100 倍などの数の求め方がわかる。
	1. 千万の位までの数の読み方、書き方、大小の判断ができる。	・日常生活の中で、千万の位までの数に関心をもち、大きな数を調べたり、読んだり、書いたりしようとしている。	・数のしくみを既習事項をもとに考え、読み方、書き方、大小の判断の仕方を発見することができる。	①千万の位までの数を読んだり、書いたりできる。 ②数直線の上に数を表すことができる。 ③大きな数の大小の判断ができる。	①千万の位までの位取りや、大きな数の読み方、書き方がわかる。 ②数の順序や数直線上の表し方がわかる。 ③大きな数の大小の判断の仕方がわかる。
	2. 整数の 10 倍、100 倍などの大きさの求め方がわかる。	・数を位取りや 10 倍、100 倍などから相対的に見ようとしている。	・整数の 10 倍、100 倍、10 でわった数を求めるのに、きまりがあると見て、その規則性をとらえることができる。	①整数を 10 倍、100 倍した大きさの数を求めることができる。 ②整数を 10 でわった大きさの数を求めることができる。	①整数を 10 倍、100 倍した大きさの数の求め方がわかる。 ②整数を 10 でわった大きさの数の求め方がわかる。
	3. 1 億の読み方、書き方、しくみがわかる。	・1 億についても、進んで用いようとしている。	・1 億についても、千万までの数と同じようにしくみを考えることができる。	・1 億について読んだり、書いたりできる。	①1 億の位取りや読み方、書き方がわかる。 ②1 億までの数の順序や数直線上の表し方がわかる。
そろばん	・そろばんの数の表し方がわかり、簡単な加法や減法の計算ができる。	・そろばんの便利さに気付き、関心をもって、数を表したり、加法や減法の計算をしたりしようとしている。	・そろばんによる加法や減法の計算の仕方を考えることができる。	・そろばんに数を置くことができ、簡単な加法や減法の計算ができる。	・そろばんでの数の置き方や、加法や減法の計算の仕方がわかる。
	1. そろばんのしくみと数の表し方がわかる。	・そろばんのしくみや数の置き方に関心をもとうとしている。	・そろばんの構造に着目して数の置き方を考えることができる。	・そろばんを使って数を置くことができる。	・そろばんのしくみと数の置き方がわかる。
	2. 簡単な加法や減法の計算ができる。	・そろばんによる加法や減法の計算に興味を持ち、活用しようとしている。	・そろばんの構造に着目して計算の仕方を考えることができる。	①そろばんを使って簡単な加法の計算ができる。 ②そろばんを使って簡単な減法の計算ができる。	①そろばんを使った加法の計算の仕方がわかる。 ②そろばんを使った減法の計算の仕方がわかる。
かけ算 (3)	・(1, 2位数)×(2位数)の計算の仕方がわかり、筆算や簡単な乗法の暗算ができる。	・既習事項をもとにして乗法の仕方を考えようとし、進んで乗法の練習や、乗法を問題解決に使うとしたりしている。	・(2, 3位数)×(1位数)の計算の仕方をもとにして、2位数をかける乗法の仕方を考えることができる。	①(1, 2位数)×(2位数)の筆算ができる。 ②簡単な乗法の暗算ができる。	①(1, 2位数)×(2位数)の計算の原理と筆算の仕方がわかる。 ②簡単な乗法の暗算の仕方がわかる。
	1. (2位数)×(何十)の計算の仕方がわかる。	・既習事項を使って計算の仕方を発見しようとしている。	・(2位数)×(1位数)の計算の仕方や計算のきまりを使って乗法の仕方を考えることができる。	・(2位数)×(何十)の計算ができる。	・(2位数)×(何十)の計算の仕方がわかる。

単元	目標	観点別評価規準			
		算数への関心・意欲・態度	数学的な考え方	数量や図形についての表現・処理	数量や図形についての知識・理解
かけ算 (3)	2. (1, 2位数)×(2位数)の計算の仕方がわかり、筆算ができる。	・何十をかける乗法など既習事項を使って計算の仕方を見つけようとしている。	・(2位数)×(何十)の計算の仕方や計算のきまりを使って乗法の仕方を考えることができる。	①(1位数)×(2位数)の筆算ができる。 ②(2位数)×(2位数)の筆算ができる。	①(1位数)×(2位数)の筆算の仕方がわかる。 ②(2位数)×(2位数)の筆算の仕方がわかる。
	3. 簡単な乗法の暗算ができる。	・暗算に関心をもち、進んで使おうとしている。	・整数の10倍や計算のきまりを使って暗算の仕方を考えることができる。	①(2位数)×(1位数)の暗算ができる。 ②(2位数)×(何十)の暗算ができる。	①(2位数)×(1位数)の暗算の仕方がわかる。 ②(2位数)×(何十)の筆算の仕方がわかる。
	4. (3位数)×(2位数)の仕方がわかり、筆算ができる。	・既習事項を使って計算の仕方を見つけようとしている。	・(2位数)×(2位数)の計算の仕方や計算のきまりを使って、(3位数)×(2位数)の乗法の仕方を考えることができる。	・(3位数)×(2位数)の筆算ができる。	・(3位数)×(2位数)の筆算の仕方がわかる。
小数	・小数の意味とその表し方がわかる。 小数の加法及び減法の意味がわかり、それらを用いることができる。	①小数表示のよさに気付き、日常の中で小数が用いられている事象に興味をもったり、進んで用いたりしようとしている。 ②小数の加法及び減法の計算の仕方を進んで考えようとしている。	①小数も整数と同じしくみであることとらえることができ、整数と小数の関係や大小比較をすることができる。 ②0.1をもとにして小数の加法及び減法の計算の仕方を考えることができる。	①小数を表したり、読んだりすることができる。 ②小数を数の相対的な大きさで見ることができる。 ③小数の加法及び減法の計算ができる。	①小数の意味や表し方がわかる。 ②小数の加法及び減法の計算の仕方がわかる。
	1. 端数部分の大きさを表すのに小数を用いることや、小数の表し方及び1/10の位がわかる。	①下位単位を用いて表された数量を、小数を用いて表そうとしている。 ②小数表示のよさに気付き、進んで用いようとしている。	・十進数の原理を用いて、端数部分の大きさを10等分に表すことを考えることができる。	①小数を用いて端数部分を表すことができる。 ②下位単位で表された数量を、小数を用いて上位単位で表すことができる。	①端数部分を小数で表す仕方やその読み方がわかる。 ②用語「小数」「小数点」「整数」の意味がわかる。
	2. 小数が整数と同じしくみで表されていることや、数の相対的な大きさについてわかる。	・0.1をもとにして小数の加法及び減法の計算の仕方を考えようとしている。	・小数も整数と同じしくみであることとらえることができ、整数と小数の関係や大小比較をすることができる。	①数直線上に小数を表したり、読んだりすることができる。 ②小数を数の相対的な大きさで見ることができる。	①小数の位取りや、構成がわかる。 ②用語「小数第一位」の意味がわかる。 ③小数の大小比較の仕方がわかる。
3. 1/10の位までの小数の加法及び減法の計算の仕方を考え、それらの計算が筆算でできる。	・小数の加法や減法の筆算を進んで用いようとしている。	・0.1をもとにしたり、位取りに着目したりして、小数の加法や減法の筆算の仕方を考えることができる。	・小数の加法及び減法が筆算でできる。	①小数の加法及び減法の筆算の仕方がわかる。 ②用語「和」「差」の意味がわかる。	
分数	・分数の意味とその表し方がわかる。	・端数部分を分数で表すよさに気付き、進んで用いようとしている。	・ある数量を何等分かしてできる大きさに対して、単位分数のいくつ分であるかを考えることができる。	・ある数量を何等分かしてできる大きさを、分数を用いて表すことができる。	①端数部分や、ある数量を何等分かしてできた大きさを分数で表す仕方がわかる。 ②分数は単位分数のいくつ分という表し方であることがわかる。
	1. ある数量を何等分かしてできる大きさを、分数を用いて表すことができる。 単位量を等分して、いくつか集めた大きさを分数で表すことができる。	・端数部分を分数で表すよさに気付き、進んで用いようとしている。	①分数が端数部分の大きさを表す場合にも用いることができると考えることができる。 ②ある数量を何等分かしてできる大きさに対して、単位分数のいくつ分であるかを考えることができる。 ③分数はいろいろな単位で表示できることを説明できる。	①ある数量を何等分かしてできる大きさを、分数を用いて表すことができる。 ②単位分数のいくつ分を分数で表したり、それを読んだりすることができる。	①分数の表し方や書き方がわかる。 ②用語「分子」「分母」の意味がわかる。
	2. 簡単な同分母分数の加減計算ができる。	・分数の加減計算の便利さを知り、進んで用いようとする。	・分数の加減の計算方法を考えることができる。	・簡単な同分母分数の加減の計算ができる。	・簡単な同分母分数の加減の計算の仕方がわかる。
	3. 分母が10の分数の大きさから、分数と小数の関係がわかる。	・小数と分数の関係に関心をもっている。	・数直線を使って、小数と分数の関係を考えることができる。	①数直線上に分母が10の分数と小数を表すことができる。 ②分母が10の分数を小数で表すことができる。	①1/10を単位とした分数の大きさがわかる。 ②1/10は0.1と等しいことがわかる。 ③小数第一位を「1/10の位」ということがわかる。

## B. 量と測定

- (1) 長さ、かさ、重さについて理解し、簡単な場合について、それらの測定ができるようにする。
- (2) 長さなどについて、およその見当をつけたり、目的に応じて単位や計器を適切に選んで測定したりできるようにする。
- (3) 時間について理解できるようにする。

単元	目標	観点別評価規準			
		算数への関心・意欲・態度	数学的な考え方	数量や図形についての表現・処理	数量や図形についての知識・理解
定 B 量と測		・長さ、かさ、重さ、及び時間にかかわる知識や技能などの有用さとその性質や関係を調べたり、筋道を立てて考えたりすることの楽しさやよさに気付き、進んで生活に生かそうとしている。	・長さ、かさ、重さなどを調べたり比較したりする活動を通して、数学的な考え方の基礎を身につけ、事象について見通しをもち、筋道を立てて考えることができる。	・長さ、かさ、重さの測定をしたり、必要な時刻や時間を求めたりするとともに、長さなどについておよその見当をつけたり、目的に応じて単位や計器を適切に使って測定したりすることができる。	・長さ、かさ、重さ及び時間などの量の大きさに対する感覚を豊かにするとともに、長さ、かさ、重さについての単位と測定の意味、測定の仕方や時間の単位の関係、必要な時間や時刻の求め方がわかる。
時刻と時間	・時間の単位について知り、簡単な場合の時刻や時間を求めることができる。	・生活の中で、時刻や時間に関心をもち、用いようとしている。	・時間の単位のしくみに着目して時刻や時間の求め方を考えることができる。	・時刻や時間を求めることができる。ストップウォッチを用いて、秒単位の測定ができる。	・時間の単位の関係を理解し、時刻や時間の求め方がわかる。
	1. 時刻と時間を求めることができる。	・時刻や時間に関心をもち、進んで具体物や計算で求めようとしている。	・具体物や数直線などを使って、時刻や時間の求め方を考えることができる。	①簡単な場合の時刻を計算等で求めることができる。 ②簡単な場合の時間を計算等で求めることができる。	①時刻の求め方がわかる。 ②時間の求め方がわかる。
	2. 時間の単位の関係がわかる。	・時間の単位に関心をもち、進んで使おうとしている。	・適切な時間の単位を用いた表し方を考えることができる。	①秒の単位を使って時間を表すことができる。 ②秒を単位にした時間の測定ができる。	・1分=60秒、秒を単位にした時間の測定の仕方がわかる。
かさ	・かさの概念や単位がわかり、測定ができる。	・身のまわりのかさなどに関心をもち、もののかさを調べたり、表したりしようとしている。	・単位のいくつ分でかさをとらえて、数値化し、測定しようと思えることができる。	・かさの単位 1, d l, m l を用いて表したり、測定したりできる。	・かさの単位 1, d l, m l やその関係、測定の仕方がわかる。
	1. かさの比べ方と表し方がわかる。	・かさに関心をもち、比べようとしている。	・長さと同じように、単位のいくつ分でとらえて考えることができる。	①かさを直接比較、間接比較で比べることができる。 ②かさを単位 d l を用いて測定することができる。	①かさの直接比較、間接比較の仕方がわかる。 ②かさの単位 d l を用いた測定の仕方がわかる。
	2. かさの単位 1, d l, m l の関係がわかる。	・かさの表し方に関心をもち、調べたり、表したりしようとしている。	・測定するものによって、適切な単位を用いた測定の仕方や、表し方を考えることができる。	①かさの単位 1, d l, m l を用いてかさを測定したり、表したりできる。 ②かさを複名数を使って表すことができる。	①かさの単位 1, d l, m l を用いたかさの測定の仕方や、表し方がわかる。 ②複名数を使ったかさの表し方がわかる。
	3. かさの簡単な計算ができる。	・かさも、加法や減法ができることに関心をもち、進んで用いようとしている。	・かさも、単位をそろえて加法・減法が適用できると考えることができる。	①簡単なかさの加法ができる。 ②簡単なかさの減法ができる。	①簡単なかさの加法の仕方がわかる。 ②簡単なかさの減法の仕方がわかる。
長さ	・長さの単位 km について理解し、目的に応じて単位や計器を選択できる。	・目的に合わせて単位や計器を選んで使おうとしている。	・長さの見当をつけるなどして、適切な単位や計器を用いることができる。	・目的にあった単位や計器の選択ができる。また、巻尺を使って測定したり、単位 km を使って長さを表したりすることができる。	・巻尺の使い方や長さの単位 km がわかる。また、目的に応じた単位や計器の選択が大切なことが体験を通してわかる。
	1. 巻尺を使った長さの測定ができる。	・目的に合った単位や計器を選択し、進んで使おうとしている。	・長さの見当をつけて、適切な単位や計器を選択することができる。	①巻尺を使って長さの測定ができる。 ②測るものによって、適切な単位と計器が選択できる。	①巻尺のしくみや使い方がわかる。 ②単位と計器の選択が大切なことがわかる。
	2. 長さの単位 km がわかる。	・身近な場面の距離や道のりに関心をもち、単位 km がどの位の長さかを知ろうとしている。	・長さの単位 km のよさがわかり、適切に用いることができる。	・単位 km を用いて距離や道のりを表すことができる。	①単位 km の意味、1 km = 1000 m の関係を理解し、1 km の長さに対する感覚を豊かにしている。 ②距離と道のりの意味がわかる。
重さ	・重さの概念や単位がわかり、測定することができる。	・重さを、単位のいくつ分で測るよさがわかる。また、はかりを使って進んで測定しようとしている。	・重さも長さと同じように単位のいくつ分でとらえればよいと思えることができる。	・重さを、はかりを用いて測定したり、単位を用いて表したりすることができる。	・重さの単位や測定の仕方、重さの表し方がわかる。
	1. 重さの概念と表し方がわかる。	・身のまわりのものの重さに関心をもっている。	・長さと同じように単位のいくつ分としてとらえて考えることができる。	①重さの直接比較、間接比較ができる。 ②単位 g を用いて重さを表すことができる。	①重さの直接比較、間接比較の仕方がわかる。 ②単位 g を用いた重さの表し方がわかる。

重さ	2. 重さの単位がわかり、はかりを使って重さを測定したり、重さの簡単な計算をしたりできる。	・はかりを使って、進んで重さを測ろうとしている。	①重さの単位kgのよさがわかり、適切に用いることができる。 ②重さも、加法・減法が適用できると考えることができる。	①重さを、複名数を用いて表すことができる。 ②はかりを用いて、重さの測定ができる。 ③簡単な重さの加法や減法ができる。	①重さと単位kg、gの関係を理解し、1kgの重さに対する感覚を豊かにしている。 ②はかりを使った重さの測定の仕方がわかる。 ③簡単な重さの加法の仕方がわかる。 ④簡単な重さの減法の仕方がわかる。
	3. 重さの単位tがわかる。	・重さの単位に関心をもち、単位tがどの位の重さかを知ろうとしている。	・重さの単位tのよさがわかり、適切に用いることができる。	・単位tを用いて重さを表すことができる。	・重さtの意味、1t=1000kgの関係を理解し、1tの重さに対する感覚を豊かにしている。

C. 図形

(1) 図形についての観察や構成などの活動を通して、図形を構成する要素に着目し、図形について理解できるようにする。

単元	目 標	観 点 別 評 価 規 準			
		算数への関心・意欲・態度	数学的な考え方	数量や図形についての表現・処理	数量や図形についての知識・理解
C. 図形		・二等辺三角形や正三角形、円や球にかかわる知識や図形の有用さとその性質や関係を調べたり、筋道を立てて考えたりすることの楽しさやよさに気づき、進んで生活に生かそうとしている。	・二等辺三角形や正三角形、円や球にかかわる算数的活動を通して、それらの形の構成要素などに着目し、それらの性質や関係を考えることができる。	・二等辺三角形や正三角形、円や球を調べたり、かいたり、作ったりすることができる。	・二等辺三角形や正三角形、円や球に対する感覚を豊かにするとともに、それらの意味や簡単な性質がわかる。
円と球	・円の意味や性質がわかり、作図することができる。 既習事項(円)の原理を用いて球の意味や性質がわかる。	・身のまわりのものから円や球の形をしたものを探そうとしている。	①円を、中心から等距離にある点の集合としてとらえることができる。 ②円を用いて、球の切り口を考えることができる。	・コンパスを使って、円を作図したり、長さを写し取ったり、同じ長さに区切ったりすることができる。	①円や球の意味や性質がわかる。 ②コンパスの使い方、コンパスを使った円のかき方がわかる。
	1. 円の特徴や性質がわかり、作図することができる。 コンパスの使い方がわかる。	①身のまわりのものから円の形をしたものを探そうとしている。 ②円のかき方を考えようとしている。 ③コンパスを使って、いろいろなものの長さを比べようとしている。	①1つの円の半径は全て同じ長さであることを見つけることができる。 ②円の中心の見つけ方を考えることができる。	①コンパスを使って、円を作図したり、長さを写し取ったり、同じ長さに区切ったりすることができる。 ②コンパスを使って、円の組み合わせ模様をかくことができる。	①円の直径及び半径の意味や性質、関係がわかる。 ②コンパスの使い方、コンパスを使った円のかき方がわかる。 ③用語「円」「中心」「半径」「直径」の意味がわかる。
三角形	2. 球の特徴や性質がわかる。	・身のまわりのものから球の形をしたものを探し、その特徴を見出そうとしている。	・円の特徴や性質をもとにして、球の切り口が最大になるのは、球の中心をとおる平面で切った場合であることを見つけることができる。	・球の特徴や性質、球の中心や半径、直径の場所を示すことができる。	①球の特徴や性質がわかる。 ②用語「球」の意味がわかる。
	・図形を構成する要素に着目し、二等辺三角形及び正三角形の特徴や性質について知り、それらを作図したり、しきつめたりすることができる。 三角形を用いて、角の性質や特徴がわかる。	①三角形の特徴を見つけ、分類しようとしている。 ②身のまわりのものから二等辺三角形及び正三角形のものを探そうとしている。	・三角形を分類するとき、辺の長さに着目して考えることができる。	①二等辺三角形及び正三角形を作図することができる。 ②三角形の角の大小や相当を比べることができる。	①二等辺三角形や正三角形の特徴や性質がわかる。 ②二等辺三角形や正三角形の作図の仕方がわかる。
	1. 二等辺三角形及び正三角形の特徴や性質について知り、コンパスを使ってそれらを作図することができる。	①三角形の特徴を見つけ、分類しようとしている。 ②身のまわりのものから二等辺三角形及び正三角形のものを探そうとしている。	①辺の長さに着目して、三角形を二等辺三角形や正三角形に分類したり、弁別したりすることができる。 ②二等辺三角形の作図の仕方を説明することができる。 ③二等辺三角形の作図の仕方をもとに、正三角形の作図の仕方を考えることができる。	・コンパスや定規を使って、二等辺三角形や正三角形を作図することができる。	①二等辺三角形や正三角形の特徴や性質がわかる。 ②二等辺三角形や正三角形の作図の仕方がわかる。 ③用語「二等辺三角形」「正三角形」の意味がわかる。

三角形	2. 三角形の角の特徴や性質がわかり、角の大きさを比べることができる。	・角の大きさに着目して、三角形を調べようとしている。	・二等辺三角形及び正三角形の角の特徴や性質を説明することができる。	①角の大きさを重ねて直接比べることができる。 ②二等辺三角形及び正三角形の角の特徴や性質を、角を用いて表現することができる。	①角の大きさは2つの辺の長さではなく、2つの辺の開きで決まることがわかる。 ②二等辺三角形及び正三角形の角の特徴や性質がわかる。
	3. 二等辺三角形や正三角形などをしきつめることができる。	・模様づくりを楽しみ、しきつめた後の美しさに気付くことができる。	・すきまなくしきつめる仕方や、どのようなり返しになっているかを考えることができる。	・二等辺三角形や正三角形などを用いて、平面をすきまなくしきつめることができる。	・すきまなくしきつめる仕方がわかり、図形に対する感覚を豊かにしている。

### D. 数量関係

(1) 資料をグラフでわかりやすく表したり、それらを読んだりすることができるようにする。

(2) 数量の関係を表す式について理解し、式を用いることができるようにする。

単元	目標	観点別評価規準			
		算数への関心・意欲・態度	数学的な考え方	数量や図形についての表現・処理	数量や図形についての知識・理解
D. 数量関係		・数量の関係を表す式や、資料の分類整理、表や棒グラフにかかわる知識や技能などの有用さ、及びその性質や関係を調べたり、筋道を立てて考えたりすることの楽しさやよさに気付き、進んで生活に生かそうとしている。	・資料を分類整理し、表や棒グラフに表したり、読んだりすることにかかわる算数的活動を通して、資料の落ちや重なりのない分類整理の仕方や、わかりやすい表やグラフの表し方、読み方を考えることができる。 ・未知の数のある数量の関係を式に表して考えることができる。	・資料を分類整理し、表や棒グラフに表すことができるとともに、表やグラフから事象の特徴などをとらえることができる。 ・数量の関係を式に表し、未知の数を求めることができる。	・資料の分類整理の仕方や、表や棒グラフへの表し方、読み方がわかる。 ・未知の数のある数量の関係を表す式がわかる。
表と棒グラフ	・資料を目的に応じて表やグラフにわかりやすく表したり、読んだりすることができる。	・身のまわりのことを観点を決めて分類整理しようとしている。また、表やグラフを進んで活用しようとしている。	・資料を落ちや重なりがないように考えて、分類整理ができる。また、見直しをもって表やグラフを作成することができる。	・表を読んだり、かいたりできる。また、棒グラフを読んだり、かいたりできる。	・資料の分類整理の仕方、表の読み方、かき方がわかるとともに、棒グラフの読み方、かき方がわかる。
	1. 資料の分類整理の仕方がわかる。	・身のまわりの事柄を、観点を設けて分類しようとしている。	・資料を分類整理するのに、落ちや重なりがないように考えることができる。	①目的にあった観点を決めることができる。②資料を落ちや重なりがないように分類整理できる。	①目的にあった観点の決め方がわかる。 ②落ちや重なりがない分類整理の仕方がわかる。
	2. 棒グラフの読み方、かき方がわかる。	・棒グラフに関心をもち、進んで活用しようとしている。	・目的に応じて、目的にあった目もりのとり方を考えて見直しをもって棒グラフのかき方を考えることができる。	①棒グラフを読むことができる。 ②紙の大きさに応じた目もりをとって棒グラフをかくことができる。	①棒グラフの読み方がわかる。 ②棒グラフのかき方がわかる。
	3. 簡単な2次元表の読み方、かき方がわかる。	・表に関心をもち、2次元表を進んで活用しようとしている。	・2つの観点で表を組み合わせて、2次元表を工夫してつくることができる。	・2次元表をかいたり、読んだりできる。	・2次元表のかき方や読み方がわかる。
□を用いた式	・□を使って場面を式に表すことができる。 ・□にあてはまる数を求めることができる。	・□を使って式に表すことのよさに気付き、進んで用いようとしている。	①未知の数を□とした式の表し方を考えることができる。 ②□にあてはまる数の求め方を考えることができる。	・四則計算の相互関係を使って、□にあてはまる数を求めることができる。	①未知の数を□で表すことがわかる。 ②□にあてはまる数の求め方がわかる。
	1. 場面を□を使った式に表すことができる。	①未知の数を□として、場面を式で表そうとしている。 ②□を使った式に表すことのよさに気付き、進んで用いようとする。	・未知の数を□とした式の表し方を考えることができる。	・未知の数を□として、場面を式に表すことができる。	・未知の数を□で表すことがわかる。
	2. □にあてはまる数を求めることができる。	①□に数をあてはめて調べようとしている。 ②□を使った式に表すことのよさに気付き、進んで用いようとする。	・四則計算の相互関係から、□にあてはまる数の求め方を考えることができる	・□にあてはまる数を求めることができる。	・□にあてはまる数の求め方がわかる。